一 般 質 問 発 言 通 告 表

向日市議会 平成２８年第２回定例会

平成２８年６月１４日

質問順	会派名 氏名	質問事項（要旨）
1	ＭＵＫＯクラブ 近 藤 宏 和	1　保育所の今後の方向性について 2　定年延長と職員の人材育成について 3　学校図書館図書整備５か年計画（第４次）について
2	市 民 ク ラ ブ 飛鳥井 佳 子	1　恐ろしい薬害について周知徹底し、健全な国保会計をめざすことについて 2　公民館等公共施設に２４時間対応の資源ゴミボックスを配置することについて 3　交差点の道路の段差をなくすことについて 4　子育てコンシェルジュの成果について 5　子どもの貧困対策の強化について
3	日本共産党議員団 米 重 健 男	1　地方創生について 2　ＪＲ向日町駅東口開設について 3　市役所事務手続きの改善について 4　側溝の保守管理について
4	新 政 ク ラ ブ 天 野 俊 宏	1　「歴まち」を活用した観光振興についてⅢ 2　高齢世帯の見守りについて 3　向日市国民健康保険について 4　公立高校の入試制度について 5　中学校給食について
5	公 明 党 議 員 団 長 尾 美矢子	1　高齢者対策について 2　Ｂ型肝炎について 3　障がい者への配慮について
6	村 田 光 隆	1　希望出生率１．８の実現に向けてについて 2　障害のある人が活躍できるまちを目指してについて
7	ＭＵＫＯクラブ 和 島 一 行	1　向日市民体育館空調設備に係る国庫補助金と地方創生交付金損失について 2　人口増加に伴う本市の危機管理について
8	市 民 ク ラ ブ 杉 谷 伸 夫	1　公契約条例で適正な労働条件と良質な事業者を守ることについて 2　熊本地震の経験をふまえ、災害から市民を守る対策について
9	日本共産党議員団 常 盤 ゆかり	1　中学校給食実施計画について 2　ひきこもり支援・対策について 3　留守家庭児童会の諸問題について 4　地域の要望について

１０	新政クラブ 清水敏行	１　最近の向日市政について
１１	公明党議員団 福田正人	１　ゴミの減量化と食品ロス削減の推進について ２　学校給食の衛生管理について ３　歩行者と自転車のための安全対策について
１２	日本共産党議員団 丹野直次	１　防災計画の充実を図ることについて ２　市民の安全のため高浜原発の運転中止を求めることについて ３　府営向日町競輪場の今後について
１３	公明党議員団 冨安輝雄	１　在宅医療廃棄物の取り扱いについて ２　若者の政策形成過程への参画について
１４	日本共産党議員団 松山幸次	１　安倍自民・公明政権の憲法改正を阻止することについて ２　「むこう・コミバス」を１日もはやくについて ３　市民会館の耐震改修工事を急ぐことについて ４　下水道使用料の値上げをやめることについて ５　地域の問題に関連してについて
１５	日本共産党議員団 北林重男	１　重い窓口負担・高い国保料と広域化について ２　後期高齢者医療保険制度の現状と課題について ３　格差をただし、経済に民主主義を確立する「３つの改革」について
１６	日本共産党議員団 山田千枝子	１　安心して預けられる保育所及び第二保育所の建て替えは緊急課題について ２　北部開発による４向小･寺戸中の児童数の問題及び就学援助制度及び通学路の安全について ３　公共施設等による終日の資源ゴミ回収などについて ４　財務省管理の南端交差点東側ＪＲ沿線の土地購入について

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 分割質問

質問者氏名	近藤　宏和	所属会派名	ＭＵＫＯクラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．保育所の今後の方向性について	（１）公立保育所と民間保育所の 〇運営主体の違いによる特徴 〇施設整備にかかる本市負担の違い 〇運営経費の違い 〇保育料の違い を具体的に示して頂きたい。 （２）本市の保育所入所希望について 〇希望理由の把握方法 〇希望理由の特徴 を具体的に教えて頂きたい。 （３）保育ニーズの今後１０年間の推移（予測） を示して頂きたい。
２．定年延長と職員の人材育成について	（１）来年度以降、スムーズに向日市民の皆様の為の行政運営が出来る様 〇現在、職員の人材育成に対する取り組み 〇１年間で達成させる覚悟 を具体的に教えて頂きたい。
３．学校図書館図書整備５か年計画（第四次）について	（１）現在向日市の小・中学校において 〇学校図書館図書標準の達成状況 〇学校司書の配置状況 を教えて頂きたい。 （２）学校司書・ICT 専門職員・部活動の外部指導者など教職員との協同により、学校の教育力を向上させる「専門的スタッフチーム」の立ち上げが必要ではないかと考えるが、見解を伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	飛鳥井佳子	所属会派名	市民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
① 恐ろしい薬害について周知徹底し、健全な国保会計をめざすことについて	日本人だけで世界の４分の１の薬を飲んでいるというデーターがあり、まさに薬中毒です。４月１５日の広報むこうの「国保財政の健全化のために」「目ざすは健康づくり、医療費の適正化、保険料収入の確保」「上手な受診で医療費節約」の記事のように、市民に薬剤の恐ろしさや、ジェネリック薬品について知らせることを今後も啓発をし続けてほしいが、いかがですか？ また、近隣の医療機関にも過剰な医療や薬の投与をしないようにお願いや、内部チェックをして、市民に長生きしていただきたいと思いますが、いかがでしょうか？ 医療被害は裁判で償ってもらうことが、次に同様の被害者を出さずにすむよい方法なので、弁護士を入れた医療被害者の相談窓口をつくるべきだが、いかがでしょうか？ 回想療法、音楽療法を取り入れ、各「老人センター」の施設を改善し、「家庭内高齢者虐待」を防止してほしいが、どうでしょうか？ また、子宮頸ガンワクチンは危険なので今後もストップしていただきたいが、どうでしょうか？
② 公民館等公共施設に２４時間対応の資源ゴミボックスを配置することについて	市役所に配置していただいて好評な資源ゴミボックスを、今後、他の公共施設に広げていただきたく、予定をお伺いします。 また、他市のように、人家に接していない道路上の空きスペースにも回収ボックスを配置してほしいが、いかがでしょうか。

③ 交差点の道路の段差をなくすことについて	市民体育館付近の歩道を面一にする段差解消工事をしていただき、たいへん好評です。 今後も、危険箇所から少しづつでも改善していただければと願っています。 本年度の道路整備推進事業費は、僅か、７億１,６９０万円で大変でしょうが、優先順位を決め、改修を進めてほしいのでご見解を問います。
④ 子育てコンシェルジュの成果について	妊娠期から子育て期にわたるまでのワンストップ窓口ができ、多くの妊婦さんに喜ばれています。プレママサロンや、プレママスクールも有意義で、子育ての不安や悩みを直接相談できてすばらしいことと存じます。 ３５０万円の予算ですが、今後、ますます参加者が増えてくると思いますので、予算強化とこの事業のＰＲをお願いしたいが、いかがでしょうか。
⑤ 子どもの貧困対策の強化について	他市では、「ふれあい学び舎事業」や、「地域学び場応援事業」をしたり、「子ども未来局」で、「子どもの食堂」への支援をしています。「機会の不平等」が、「国の子ども政策の貧困」で、広がっており、ＯＥＣＤ中最下位という不名誉な国ですので、「無料学習塾」や「寺小屋」や「ひとりも見捨てへん教育」に取り組んでいる市もあり、対策を強化していただきたいが、いかがでしょうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 分割質問

質問者氏名	米重　健男	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
１．地方創生について	地方創生加速化交付金は、一億総活躍社会の実現に向けて緊急に実施すべき対策として平成27年11月に国の一億総活躍国民会議で決定されたものであり、「緊急対応として、「地方版総合戦略」に位置付けられた先駆的な取組の円滑な実施を支援する。」ことを目的とし、平成27年度補正予算にて1000億円の枠で計上されていたものであります。 １、　国においてどういった理由で交付金の不交付を決定されたかお聞きでしょうか。 ２、　交付金の申請事業について今後どうされるのでしょうか。
２．ＪＲ向日町駅東口開設について	向日市ふるさと創生計画のなかで、ＪＲ向日町駅東口について開設の意向が示され、今年度主要事業で764万円の予算を計上されております。 １、　ＪＲ向日町駅東口についてどういった開設方法を検討されているのか、具体的なイメージとして、駅前広場やロータリーも含めた多額の投資を必要と考えられる事業として考えているのか、それとも、跨線橋や地下連絡通路での交通路の確保を目的とするものなのか、市長の意向をお示しいただきたい。 ２、　ＪＲ向日町駅東口開設事業はある程度の高額な予算が必要になると考えられますが、他の高額な予算がかかる可能性のある事業、たとえば市民会館の更新等との間でどういった優先順位であるのかお伺いします。 ３、　森本東部地区開発で地元まちづくり協議会と協働していくとの事でありますが、開発事業の方向性としてどういったものを想定されているのかお伺いします。
３．市役所事務手続きの改善について	市役所での手続きは現行の庁舎が急な坂の上にあることもあり、高齢者にとっては来庁そのものが困難となっております。中には郵送での手続きを選択される

	方もあるわけです。ある補助金を申請された市民の方から手続きについて、申請などの書類手続きで、記入例がついているものとついていないものがあり、郵送で申請を行う場合に記入方法、記入場所がわかりにくい書類であれば、誤記入の訂正などで、結局、市役所へ行かなければならなくなり、二度手間三度手間となる。市民の利便性向上のためのワンストップもこれでは意味がないとのご意見をいただきました。また、還付金などの入金については事前に連絡があるが、補助金は連絡がなくいつお金が入ったか判別できず困っているとの声が出ています。市民目線に立った事務処理の改善についてお伺いします。 １、　申請書等の記入内容、記入例等がわかりやすくなる方法を検討しているでしょうか。 ２、　市のＷＥＢサイト等で記入見本の一覧などを掲載することはできないでしょうか。 ３、　補助金交付の決定後、入金の際に連絡はできないのでしょうか。
４．側溝の保守管理について	住宅前面道路が私道となっている地域では、側溝の清掃、点検等を町内会などの主導で市民の協力の下、進めていただいているわけであります。本市においても、地域住民に高齢者の割合が多くなってきているわけであります。こうなってまいりますと清掃一つとっても体力的な問題から側溝の蓋を開ける事も難しくなっているのが現状であります。このことは自治会から脱退の一つの要因となっております。さて、側溝の保守管理は本市の雨水対策においても内水氾濫を防ぐ上で重要であると考えます。本市の下水道整備がすすみ、頻繁な清掃を行う必要がなくなりつつあるものの、高齢者の怪我、足腰を痛めるといったケースもあると聞き及んでおります、健康面での心配が出てくるわけです。自治会によっては業者への委託をされているところもあるようですが、委託費用が 140 世帯ほどの町内会で約 30 万円程であるということです。 １、　高齢化が進展し地域住民の手により保守管理が困難となっている地域の把握はしておられるでしょうか。 ２、　自治会等で業者に委託する等、側溝清掃の費用面での負担が大きくなる場合、助成制度をつくれないでしょうか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	天野　俊宏	所属会派名	新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
1.「歴まち」を活用した観光振興について　Ⅲ	①　観光客誘致に向けての、本市の魅力満載「観る・買う・食べる」の自治体ＰＲ用の観光冊子（ガイド　ブック）の作成、について伺う。 ②　「竹結びフェスタ」、「竹の径・かぐやの夕べ」を活用した観光振興について伺う。
2．高齢世帯の見守りについて	①　高齢世帯の見守り体制について、より一層の充実が必要と考えるが、如何か？ ②　機器による見守りについてもチカラを入れて行く必要があると考えるが如何か？ ③　救急医療カードについて
3．向日市国民健康保険について	①　平成２７年度の本市の国保の収支状況は、ほぼ確定したと思われるが、どの様な状況になるか伺う。 ②　今年度の国民健康保険料は前年と同額になっているが、平成３０年度の国保事業の広域化まで、どのように検討するのか伺う。
4．公立高校の入試制度について	①　平成26年から実施されている、現在の公立高校の入試制度が分かりづらいと、今なお耳にする。中学校での周知の状況などについて伺う。 ②　生徒には、どの様な対応をしているのか伺う。
5．中学校給食について	①　報告では、１つの中学校で３中学校分の給食を調理できるセンター機能を持った、兄弟方式が最適であるとのことだが、「法令上の制限について京都府と協議」とあるが、これについて伺う。 ②　ふるさと向日市創生計画では、平成３１年を実施目途とされているが、今後のスケジュールについて伺う。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	長尾美矢子	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．高齢者対策について	① 成年後見人の利用状況について ② 成年後見制度の周知について ③ 潜在的な後見人の需要について ④ 市民後見人育成の取り組みについて ⑤ NPO 法人の協力について ⑥ 受任の方法について ⑦ 本市の火葬、埋葬の現状について ⑧ 助成について
２．B 型肝炎について	① 28 年 10 月から定期接種予定の B 型肝炎ワクチンのみこみについて ② 周知の方法、準備の状況について ③ 3 歳までの接種についてのご見解について
３．障碍者への配慮について	① 障碍者差別解消法での合理的配慮について現状について ② 可能な範囲の合理的配慮の周知について ③ 新庁舎での障がい者への配慮について

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	村田光隆	所属会派名	会派に属さない議員

表題	質問事項（質問の要旨）
１．希望出生率 1.8 の実現に向けてについて	安倍総理大臣が発表した新三本の矢の 1 つである、希望出生率 1.8 の実現に向けて、本市の政策を問う。 我が国の合計特殊出生率 1.42（厚生労働省が 5 月 23 日に公表した最新の人口動態統計によると 1.46）を 1.8 にまで回復させ、50 年後も人口一億人を維持するとした。 昨年の衆議院予算委員会で、井坂信彦衆議院議員が出生率 1.8 を達成するには、結婚率を上げなければならないと質問している。 女性の 35 歳結婚経験率　完結出生児数 現在　出生率 1.42 ＝ 71% × 1.96 人 ↓ 目標　出生率 1.8 ＝ 90% × 2.07 人 結婚希望率　予定子供数 井坂信彦衆議院議員作成資料より参照 京都府の合計特殊出生率は、平成 27 年で 1.26 と 4 年連続全国で 2 番目に低い数値になっている。 向日市では、平成 20 年～24 年の合計特殊出生率は 1.37 で、決して高い数字とは言えない。 向日市人口ビジョンによると、向日市では 2050 年（平成 62）くらいには、人口が 4 万人を切るとされている。 北部地域の開発が進み、少しずつ人口が増えているが、他所の地域から転入してきているだけで、これだけでは出生率が上がるとはいえない。 1-1 本市の合計特殊出生率 1.37 という数値の分析と考察を伺う。 1-2 政府が目標としている希望出生率 1.8 の実現に向けて本市での方策を伺う。 介護離職とは、親や家族などの介護のために、仕事を辞めなければならない状況になることを指すが、介護

	離職ゼロは、約 52 万人いると言われる特別養護老人ホームに入所できない待機高齢者の解消を目指すというものである。しかしいくら建物を増やしても、肝心の介護職員が不足している。 平成 26 年度の本市内 3 つの地域包括支援センターでの介護相談件数は、延べ 11,092 件で、そのうち 1-3 介護疲れや介護のために仕事を続けるのが困難だと言う相談はどのくらいあるのか。 1-4 仕事を辞めることなく、介護を続けられるのが一番良いのかもしれないが、相談された方を解決へと導く手順を伺う。個別の事例があれば内容を聞く。
２．障害のある人が活躍できるまちを目指してについて	障害のある人の就労意欲は年々高まって来ているが、本市職員の障害者雇用数は決して多いとは言えない。採用拡大の是非を問う。 障害者雇用対策として、障害者雇用促進法も改正を重ね、事業所への障害者雇用拡大を推し進めてはいるが、我が国には約 700 万人の障害がある人がおられ、年々増加傾向にある。そのうち仕事に就いているのは約 41 万人で、全体の 10 分の 1 にも満たない状況である。 事業主は一定割合以上の雇用義務が課せられており、この割合を「法定雇用率」という。現在の法定雇用率は、民間企業が 2.0%、国・地方自治体は 2.3%、都道府県等教育委員会は 2.2%となっている。 障害者雇用納付金制度は、法定雇用率に満たない事業主には、1 人に付き月額 5 万円を納付金として納めなければならない。 反対に雇用率を超えて雇い入れた事業主には 1 人増えるごとに月額 2 万 7 千円が調整金として支給される。 向日市役所の障害者雇用数は 4 人で、かろうじて法定雇用率を満たしているに過ぎない。 2-1 法定雇用率以上の障害者を市職員として採用することを提案する。 2-2 現在、本市役所で働いている、障害のある職員は全員身体障害者である。知的障害・発達障害者への門戸を開くべきではないか。 障害者トライアル雇用で、受け入れてみてから採用を検討してはどうか。 障害者を受け入れることが出来る環境を市役所内でも整えていただきたい。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	和島　一行	所属会派名	MUKO クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．市民体育館空調設備に係る国庫補助金と地方創生交付金損失について	１．市民体育館の国庫補助金損失の件 質問①　市長はじめ、副市長、担当部長は京都府に何回出向き補助金確保にどれだけの熱意をもって伝えたかをお聞かせください。 質問②　この１億円の補助金が交付されなくなったことは我々市民にとって大きな損失であります。市長はこの損失をどのように受け取られているのか。 質問③　大山崎町でも今年度に体育館の空調設備の工事を予定され大半は府の補助金を確保されると聞きました。本市もなぜそのように財源を確保してからの執行ができなかったのか。 質問④　この大きな損失で財政難が更に財政難に追い込まれることが予想されるがどのような計画をもってクリアするのか。
	２．地方創生交付金の損失について 質問①京都府内では０円は向日市だけであり、市長はどのように受け止めているのか。そして計画している地方創生が本当に実行できるのか。 質問②府の担当者との協議はどのようなものだったのか。担当者からのアドバイス、レクチャーのようなものはなかったのか。

傍聴者　配布資料

２．人口増加に伴う本市の危機管理について	本市に来年度以降大型マンション､戸建て住宅が建つ。それにより一時的に人口増加が予想される。 人口増加に伴う危機管理を伺う。 質問①　マンションの立地区域が第４向陽、第６向陽になるが児童数の増加に対応できるか。保育所、学童保育の収容人数、保育士の確保はできるか。 質問②　家庭ごみの排出量に伴う収集能力、人員は確保は考えているのか。 質問③消防、救急体制の対応能力は大丈夫か。地域消防団の強化はするのか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 分割質問

質問者氏名	杉谷　伸夫	所属会派名	市民クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
１．公契約条例で適正な労働条件と良質な事業者を守ることについて	（１）自治体は公共発注や公共サービスを通して、地域で働く人々の労働や、地域の中小企業の経営に大きな影響を与えていることについて ①公共発注を通した自治体の責務について、市の認識は？ ②そのために、向日市が公共発注に関わって積極的に取り組んでいることは何か？ （２）公共工事や公共サービスに従事する労働者の賃金・労働条件について ①公共工事の予定価格の基準となる設計労務単価とかけ離れた低い賃金しか支払われていない事例はないか。 ②ブラック企業が向日市の仕事を受注している事例はないか。 ③向日市の公共発注が、労働者を酷使するブラック企業に有利となり、良質な事業者が排除される危険はないか？ ④こうした問題に対する対策は現在どうなっているか？ （３）公契約条例について ①全国の自治体でこの数年、公契約条例の制定が増えている状況について、向日市は把握しているか？ ②公契約条例を制定する効果について、見解を伺う。 (1)公契約条例の核心は、市の発注する事業に従事するすべての労働者に、一定水準以上の賃金の確保を求める「最低賃金条項」にある。向日市はどう考えるか？ (2)地域の事業者にとっても、労働ダンピングをしなくて良くなり、大変助かる制度だと思うがどうか？ (3)地域社会にとっても、住民サービス向上が期待できるのではないか？ ③向日市においても、公契約条例の制定を検討するよう求めたい。見解を伺う。

２．熊本地震の経験をふまえ、災害から市民を守る対策について	（１）熊本地震の経験をどう生かすか 熊本地震を経験した現在、地震をはじめとした大災害に対する備え、対策の見直しをどのように進めるか。 （２）向日市の地震対策について ①向日市では、どのような被害想定をしているか。 ②向日市の建築物の耐震化率は全国平均、京都府平均を大きく下回り、市の計画からも遅れている。原因と対策は？ （３）被災しないための市民の備えと、自主防災活動に対する支援について ①大災害時に、自らが被災しない準備・対策の強化を求めたい。防災をテーマに講演会や学習会の開催を求める。 ②自主防災活動への支援は 町内会などの単位で、災害時に支援に頼らなくても当座の事態をしのげる備えをしようという動きがある。こうした自主的な活動に対する支援は？ （４）災害時に自力で避難できない市民への支援について ①ご高齢者や障がいをもつ方など、災害時に支援が必要な方に対して、市町村が法的に対応が求められている支援施策は？ ②避難行動要支援者名簿に関して (1)名簿への登録対象者の人数、および登録者の人数は？ (2)避難を必要とする災害が発生した場合、登録者の避難にどのようにして役立つのか？ (3)避難行動要支援者名簿への登録申請書に、ご近所の方で支援者になっていただける方の名前を記載している人の割合はどれくらいか？記載していない人には、近隣・地域の支援が届かない可能性がある。その対策はどうするのか？ ③「災害の時にどうなるか心配だ。いざという時、行政は何をしてくれますか？」というご高齢者の問いに対する回答を伺う。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	常盤　ゆかり	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
１．中学校給食の実施計画について	本市にふさわしい中学校給食の実施方法について「向日市中学校給食検討委員会」が報告書としてまとめ、提出された。実施へ向けて、進捗状況・今後の計画について問う。 ①これまで市長は、「検討委員会からの報告をしっかり踏まえ、教育委員会と協議する中で、本市にとってふさわしい中学校給食の実施方法等について判断してまいりたいと考えている。」と答弁されていた。市長の考えを改めて聞く。 ②補正予算の「給食施設の建設に伴う諸条件の検討を行うための基本計画策定業務委託料」として８６０万円計上されているが、詳細を聞く。 ③検討委員会では「兄弟方式」とまとめられた。一校の敷地内に調理室を建設し他二校へ配送する施設の建設には京都府の許可が必要ということだが、許可申請は出されたのか。府の対応と結果はどうか。 ④実施時期及び年度別の事業計画を示していただきたい。 ⑤中学校給食を実施するにあたって、食物アレルギー対応や教職員の負担軽減・不安解消などの配慮が必要である。対応・対策について問う。 ⑥より良い給食となるよう、保護者・教職員・市民からの意見を聞く場を設けていただきたいがどうか。
２．「ひきこもり」支援・対策について	生きづらさを抱え社会との関係が途絶えてしまう若者やおとなが増えている。 家族自身も外へ向けて相談しにくく、「ひきこもり」が長期にわたってしまうことも少なくない ①就労の相談や親が亡くなった後の生活相談など自立支援を目的とした相談窓口の体制について。 ② 支えとなる居場所づくりが必要であると考えるが、体制や支援は考えておられるのか。 ③個々に合った自立支援のために、ファイナンシャルプランナー、社会保険労務士、臨床心理士、ソーシャルワーカーなど、多分野の専門家によるサポート体制が必要であるが相談の整備についてどうか。

傍聴者　配布資料

３．留守家庭児童会の諸課題について	２０１５年４月より「向日市子ども･子育て支援事業計画」で、入所対象児童を６年生まで拡大し、受け入れを開始された。本市事業として始まっていた夏休み時期の入会は昨年度は１６０人、通年入所児童の５２３人を合わせると、６児童会計６８０人を超える児童が過ごした。 ①昨年度の夏期入所児童の児童会別、学年別人数を聞く。 ②５．６年生の生活保障について ③夏休みの安全対策への施設の工夫、耐震化計画はどうか。 ④認定研修終了者と補助員の人数配置と研修修了者の増員計画を聞く。 ⑤厚生労働省から放課後児童健全育成事業関係補助としていくつかの項目があるが、それぞれ申請し、充当に補助を受け活用されているかどうか。
４．地域の要望について	①市道２０１７号線と２１３９号線の交差点では頻繁に事故が起きている。 見やすいカーブミラーの設置と一旦停止標識や安全確認を促す看板設置などの安全対策を。 ②当該道路は向陽小学校の通学路であり、第一保育所前であることから、車両進入時間の制限がされている。朝の進入禁止時間設定が「８～１０」となっており、地域住民が利用するタクシーも自宅前まで入れず困っているとのこと。時間制限の工夫や地域住民への配慮など対策はできないか。

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 総括質問

質問者氏名	清水　敏行	所属会派名	新政クラブ

表題	質問事項（質問の要旨）
1　最近の向日市政について	（1）耐震問題による市役所本庁舎の補強工事や市民会館の4月から使用禁止等、補強工事か建て替えるのか、出来るだけ早く結論をお願いしたい。 （2）地方創生加速化交付金の交付が本市だけ無いのかと、多くの市民は嘆いています。 この交付金は、地域活性化に効果のある計画に対して補助する制度であり、今回の国の配付基準に疑問視する声もあり、現在2次募集に申請されている状況を聞かせて下さい。 （3）文化庁の移転に対するアンケート結果が府の歓迎に対して、強く反対しているような報道となっている、市長の真意をお聞かせ下さい。

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書　総括質問

質問者氏名	福田　正人	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
1．　ゴミの減量化と食品ロス削減の推進について	①　ゴミ処理の現状と課題について質問する。 ②　減量化目標について、取り組み内容と達成状況について伺う。 ③　一般家庭における食品ロス削減に向けた取り組みについて伺う。
2．　学校給食の衛生管理について	①　衛生管理の取り組みについて伺う。 ②　危機管理体制と、その取り組みについて伺う。 ③　食中毒を発生させない為の取り組みについて伺う。 ④　調理作業場における、ウェットシステムとドライシステムについて、今後のお考えを伺う

3．　歩行者と自転車の為の安全対策について	①　注意喚起を行う具体策はあるのでしょうか。 ②　小中学校において、指導徹底はされているのでしょうか。 ③　自治会に対する、「飛び出しボーヤ」などの助成は行われているのでしょうか。

一般質問通告書　分割質問

質問者氏名	丹野　直次	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
1．防災計画の充実を図ること	1 耐震基準の見直し。向日市域には南北に樫原－水尾断層があり直下型地震が想定されていますがその被害の影響等について見解を問う 2、防災会議や幹部職員 10 人からなる「危機管理対策チーム」の会議など今後の計画は 3 ①行革の関係では公共施設の指定管理者にしているところでその実態は。 ②学校給食の民間委託しているが災害時は給食を作る委託先の職員さんは来られるか。 ③災害招集をかけているのは正規の市職員さんだけなのか。非常勤職員は招集できるのか 4－ ①一時避難場所になっている NO 3大牧公園は東西に2カ所の階段ですがスロープ設置改修を ②施設の指定緊急避難所に TV の設置、FAX 設置を ③各学校に緊急地震速報受信装置の整備と災害ボランティアセンター設置はどこに予定か ④ 向日市は指定される「緊急避難所」の国が示す基準は一人当たりは1坪となるが受け入れ人数とスペースはクリアできているか。 5、地震時の原発再稼働を認めるのか

２．　市民の安全のため高浜原発の運転中止を求めることについて	１，「プルトニウム有効利用・再利用を進めることは人命重視と住民の安全性にとって矛盾する ２、①向日市には舞鶴市から４０００人を受け入れることとなっています。受け入れ策定計画は完成しているか ②災害弱者 9300 人おられますが避難者をどこの施設に何人と言った寝床の確保は
３．　府営向日町競輪場の今後について	１、現在の競輪場のがある向日市の姿と、将来の向日市の「まちづくり」をどのように認識しているか。 ２、競輪事業民間委託化にされることに対して説明会を行うように府に要請していただきたい。 ３、競輪場メインスタンドを含む各建物の耐震調査（耐震結果）は ４、環境整備事業府交付金（迷惑料４０００万円）への影響はどうか。減額されないように府に要求しているか

傍聴者　配布資料

一般質問通告書 分割質問

質問者氏名	冨安　輝雄	所属会派名	公明党議員団

表題	質問事項（質問の要旨）
１．在宅医療廃棄物の取り扱いについて	①向日市一般廃棄物処理基本計画における在宅医療廃棄物の適正処理等に関する位置づけについて ②在宅医療廃棄物の適正処理に関する環境省等の動向について ③本市のゴミ収集時に在宅医療廃棄物が混入されている事例はあるのか。現状と課題および今後の方向性について ④市民等への当該廃棄物の適正処理に関する周知・啓発状況について ⑤医師会等関係機関との連携について
２．若者の政策形成過程への参画について	① 若者の政策形成過程への参画（若者の意見等を市政に反映する仕組み ）について ② 各種審議会委員の年齢構成について ③ 各種審議会への若者の登用を進め、幅広い委員会の構成を図ること。会議については休日や夜間の開催にも努めることについて

傍聴者　配布資料

傍聴者　配布資料

一般質問通告書　総括質問

質問者氏名	松山幸次	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
1、安倍自民・公明政権の憲法改正を阻止することについて	①あらゆる世論調査で「憲法改正反対」が多数です。共同通信社が実施した、４月２９・３０日の全国電話世論調査では、改憲反対が５６．５％、改憲賛成が３３．４％です。安倍政権下で国民の多数が「憲法改正反対」の意志表明をしていることについて、市長はどのような認識を持っておられるでしょうか。 ②「自民党憲法改正草案」は憲法９条２項の削除や「緊急事態条項」など重大な内容です。そして、憲法９９条により、憲法を守るべき安倍首相自身が、「憲法改正発言」を繰り返す民主主義否定の異常事態です。このことについて市長の認識は。 ③「戦争法の廃止を求める統一署名」（国会請願署名）は賛同者が１２００万人を超えました。この戦争法（平和安全保障関連法）は、向日市民が願う「世界平和都市宣言」にも反するものです。この点について市長はどのような認識をお持ちか。 ④オバマ米大統領の被爆地広島市訪問は大きな歓迎をもって報道された。「核兵器のない世界」の実現へ、アメリカ政府が核兵器禁止条約に背を向けてきたこれまでの態度を改めることが大切です。核兵器廃絶についての市長の見解を。そして、毎年６月に市庁舎前で行われている「国民平和大行進の平和集会」に市長としてご挨拶いただきたい。 ⑤沖縄県でまた「米軍基地あるがゆえの悲劇」が起こりました。米政府や米軍が「再発防止」を約束しても守られたためしはありません。京丹後市にも米軍のレーダー基地があり心配です。今回の沖縄米軍属の犯罪、米軍基地撤去、日米地位協定の抜本的見直しなどについて、市長のご見解を。

傍聴者　配布資料

2、「むこう・コミバス」を1日もはやく	①バスルート・バス停はどのように決められるか。「巡回バスの会」がバスルート・バス停の試案を発表しています。市民のみなさんの合意により決定を。 ②むこう・コミバスを平成２９度中には運行を。
3、市民会館の耐震改修工事を急ぐことについて	①４月２０日に【熊本地震の支援】【防災への市民啓発】【市民会館・中央公民館の耐震改修】【第２保育所の建て替え】【川内原発の稼働中止】など５点の申し入れを市長に行った。今後は文書回答を。 ②「市公共施設管理計画」の策定待ちでなく、市民会館・中央公民館の耐震補強工事を急げ。
4、下水道使用料の値上げをやめることについて	①５月１７日上下水道懇談会が開かれた。市長はどような諮問したのか。 ②上下水道事業懇談会の審議が始まる前に、市長が値上げの意向を議会で表明してよいのか。 ③市民の暮らしはいまたいへんです。下水道使用料の値上げはやめていただきたい。市長の見解を。 ④上下水道事業懇談会の資料で明らかなように、向日市の上下水道料金は最も高い。更なる市民負担増は認められません。
5、地域の問題に関連して	①府内の市で市街化調整区域をなくす線引き廃止が決められた。向日市では過密都市をさらに進めるそのようなまちづくりは止めるべきです。 ②上植野町の市街化調整区域に「都市計画道路牛ケ瀬勝龍寺線」建設の意向が示されているが、その後どうなったか。 ③平成２７年版向日市防災マップに桂川の氾濫ハザードマップが示されており、私の町内を始めＪＲ東部の８０％近くが浸水被害想定されている。市民をいかに守るのか。 ④市道森本・上植野幹線の舗装が痛んでおり補修改良の要望が地域自治会から出されている。市道の舗装改修計画はどうか。

一般質問通告書 総括質問

【傍聴者　配布資料】

質問者氏名	北林重男	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
１．重い窓口負担・高い国保料と広域化について	重い医療費の窓口負担が診療抑制と治療中断を生み出している。また、高い国保料が支払えず短期保険証が交付され医療機関への受診を控えさせている。 ２０１８年度から国保の都道府県単位の広域化が開始される予定となっているが、広域化により重い窓口負担や高すぎる保険料が改善され、国保の構造的な矛盾が解消されることになるのかを問う。
	１，窓口負担の重さが、受診を控える大きな要因の１つ…国の責任で国保加入者の窓口負担を２割とする ２，高い国保料負担を強いられ、払いきれず正規保険証を取り上げられ、医療機関に受診できない市民をなくすためにも保険料引き下げは急務 ３，国保の広域化について ①重い窓口負担の軽減策の拡充に繋がるのか ②高すぎる保険料の引き下げに繋がるのか ③市独自の一般会計法定外繰入について ④将来「統一保険料、統一サービス」への移行は ⑤資格証や短期証の発行を止める方向へ ⑥国保の構造的矛盾は解消されるのか ⑦国民皆保険制度の崩壊に歯止めがかかるのか ⑧医療制度改悪ストップの声を上げるべき
２．後期高齢者医療保険制度の現状と課題について	後期高齢者医療被保険者の負担軽減のための保険料「特別軽減」制度を廃止しようとしており、「保険料が２倍から１０倍にも跳ね上がる人がでる大改悪」という事態に直面している。後期医療制度の現状と課題について問う。
	１，保険料を払いきれない高齢者が増えている ２，正規の保険証が交付されないケースが増えている ３，保険料「滞納者」に対する預貯金差し押さえが急増 ４，現役世代の負担も深刻

	５，「保険料軽減措置」の段階的な廃止は止めよ ６，患者の２割負担化は許されない ７，後期高齢者医療制度を廃止し、老人保健制度に戻し、社会保障制度の拡充を国に求めること
３．日本共産党が提起した、格差をただし、経済に民主主義を確立するための「３つの改革」について	１，税金の使い方を変えること 「『税金は負担能力に応じて』の原則に立った公正で民主的な税制の改革」 ①消費税１０％への増税は先送りではなく、キッパリと中止を強く求める ②富裕層と大企業に応分の負担を求める税制改革を行い「消費税に頼らない別の道」で、暮らしを支える財源をつくりだす ２，税金の使い方を変える 「社会保障、若者、子育てに優先して税金を使う」 「軍事費を削って暮らしにあてる」 ①社会保障費削減路線を中止し、拡充へと転換する。 ②大学の学費を段階的に値下げし、月３万円を７０万人に支給する給付型奨学金を創設する ③保育所の待機児童問題は、認可保育所を増やし解決することを国の大原則とする。保育士の賃金と配置基準を引き上げ、深刻な保育士不足を解消 ④戦争法強行と一体に、軍事費は５兆円に増えて過去最高、軍事費を減らし、暮らしに回すこと ３，働き方を変えること 「ブラックな働き方をなくし、人間らしく働けるルールを」 ①残業時間の上限を法律で規制し、過労死を生み出す長時間過密労働をなくす「残業代ゼロ法案」を撤回させ、「サービス残業」を根絶する。ブラック企業、ブラックバイトを根絶する ②雇用のルールを強化し、非正規社員から正社員への流れをつくる。労働者派遣法を抜本改正し、派遣労働は一時的・臨時的なものに制限する ③最低賃金は「いますぐ１０００円にし、１５００円をめざす」 ④中小企業を日本経済の根幹に相応しく振興を図る

傍聴者　配付資料

一般質問通告書 分割質問

質問者氏名	山田千枝子	所属会派名	日本共産党

表題	質問事項（質問の要旨）
１、安心して預けられる保育所及び第二保育所の建て替えは緊急課題について	「保育園落ちたのは私だ。日本死ね」のひとりのつぶやきが大きな社会問題になっている。希望しても認可保育園に入れない子どもが続出しながら、冷たい態度を示した安倍政権への怒りの声が沸き起こっている。「女性の活躍」といいながら保育園も満足に整備しようとしていない。本市も待機児童をだすなど北部やマンション開発などにより今後も利用者は増える。①市民会館や中央公民館の耐震が必要と使用禁止。第二保育所は地震が来ても大丈夫といえるか、建て替えを早急に検討せよ②国に対して公立などの認可保育所の増設や保育予算を増やすよう働きかけよ③育児休暇中のすべての上の子どもの保育所の退所をやめることについて④６月１日現在の待機児童数、洛西つばさ園の１１月開所で待機児は解消されるか⑤すし詰め保育の解消、保育士、調理師の負担軽減について。記に対して処遇改善を働きかけよ
２、北部開発による４向小・寺戸中の児童数の問題及び就学援助制度及び通学路の安全について	４月の４向小の入学式に参加した。北部開発により新１年生の人数は１００人、全盛と数は５７３人、寺戸中の新１年生は１５６人、全生徒数は４７８人。教室の数など受け入れ体制について保護者から心配の声が出ている。秋には長谷工のマンションにも入居される①秋からの天候による４向小・寺戸中の生徒数の人数把握はどうか②児童数が増えた場合の教室や特別教室、体育館、グランドなど万全なく生徒が使用でき

	るか、今後の対策はしているか③学校選択制で寺戸中にいけなかった新１年生は何人だったのか④今後受け入れ人数が４向小・寺戸中で増えてきても、今まで通りの選択制をするのか。選択制の課題をどのように考えているのか。 ⑤就学援助制度から漏れているこどもはいないのか。周知徹底を強めることについて⑥本市の援助の金額の増額や内容の拡充について⑦永田通り・変電所前通りとイオン桂川周辺の交差点、ボランテイアして頂いている。交通指導員の登下校の増員信号機の設置、新設の K ガレージ周辺の通学路・市民の安全対策について
３、公共施設等による終日の資源ゴミの回収について	前日からの資源ゴミの回収は試飲の切実な要求でした。３月議会で私の質問で「検討する」と市は答弁。４月末に担当部局に聞くと公共施設等はコミセンを対象にし、周辺地域の意見などを集約し実施するとのこと。①公共施設等による資源ゴミの終日回収とは前日からか。周辺住民との状況、実施公共施設、実施時期はいつからか②清掃職員の問題は行政の管理責任に問題があった。清掃職員との話し合い、今後の業務についてどうか。
４、財務省管理の南端交差点東側 JR 沿線の土地を市が購入することについて	総務省による自衛隊管理の南区久世町の９７９平方メートル、約３００坪の土地が現在、財務省の管理に移行し売却公募していた。その土地を向日市が購入したいと申請、６月１日財務省は処分予定時期を平成２８年度とし、向日市と平成３０年５月までに契約締結するとしている。 ①３００坪もの土地を購入してまでその土地がなぜ必要なのか。何に利用するのか。②財政が厳しいといいながら優先して購入しなければならない土地なのか。この土地の購入金額の見積もりはいくら予定しているのか